



# 県評しずおか

## 静岡県労働組合評議会

〒422-8062  
静岡市駿河区稲川2-2-1  
セキスイハイムビルディング7階  
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973  
Eメール kenpyo@mail.wbs.ne.jp

### 労働組合運動に「トキメキ」を



新年あけまして  
おめでとうございませす

県評議長に就任し、早くも2期目になりました。一年が過ぎるのはあっという間で、歳を重ねてくると特にそう思います。ところで、い



菊池仁県評議長

つだったかNHKの「チョコちゃんに叱られる！」で放送されましたが、「大人になるとあつ」という間に1年が過ぎるのはあっという間という風景を比較して説明していましたが、子どもの食事風景

は「今日の飯は何かな?」「どんな味かな?」「ニンジンが星形に切つてある!」と、発見、疑問、驚きなどの沢山の「トキメキ」があるけれども、大人になると見慣れた料理を「ただ食べるだけ」。食事がただの作業になってしまふからなのだそうです。

私たちが労働組合運動に「トキメキ」があるでしょうか。そんなことを考えながら運動を進めていくのも楽しいかもしれません。昨年12月9日に閉会した国会は、多発した自然災害による被災者本位の災害復興と防災減災対策の議論消費増税による国民生活への影響をチェンクシ税率引き下げなど国民生活の改善にむけた議論が必要でしたが、2人の大臣の辞任、大学入試における「身の丈」発言、「桜を見る会」の私物化などの問題が相次ぎ、必要な議論が全くなされていません。「文書隠し」や「言い訳」「はぐらかし」に徹し、明確な説明を拒む政府の姿勢には、国民のくらしを守る使命はどこかに押しやられてしまっています。そして、今年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これがお



全国で集めた署名数を壇上で掲げる各地の代表者と高校生=6日、新宿区・角筈区民ホール

### 3,398,834筆集まる

12月6日「ゆき」といいた教育を求めよう」要請行動・集約集会が東京で開催され静岡からは3人参加しました。

国会議員要請の意思統一集約が全国教育文化会館(全教会館)で行われました。主催者の小畑雅子全教委委員長から「1年単位の變形労働時間制が十分な審議もなしに採決されたことに抗議する」

「安倍首相は、桜を見る会には5000万円も支出している。その一方、教育予算を増やしてほしいと訴えれば、予算には限りがある」と、国民の声は無視していい。高知県の保護者からは、「不登校の生徒が多い。先生と子どもがちゃんと向き合えるように、少人数学級に」。福島県では「原発事故で学校も再開できないでいる。また、学校の統廃合が進んでいる。学校を存続するために署名を頑張ります」と発言がありました。

集会後、国会議員に「紹介議員に」等要請をしました。午後から「ゆき」といいた教育を求めよう全国署名集約集会」が開催され、教職員・父母・保護者や、私学に通う高校生から発言がありました。母子家庭の高校生は「私学は学費が高く親に後ろめたさを感じている」この署名活動をする事で親の負担を減らすことができる。「私学助成の活動をする中で、学費権利があるなどを知った」。

「街頭署名や学校祭で署名12、755筆集まった。公立校と私立校の授業料の格差をなくし授業料の無償化のため署名を頑張る」との発言がありました。各都道府県の署名数の発表があり全体で3,398,834筆集まり静岡は27,406筆でした。

### 私学助成の活動で、学費権利を知る 教育全国署名集約集会

### 春闘スタート新春宣伝

静岡市では1月7日の季節、働き方を見直す時期です。昨年10月より消費税が上がります。全労連は「最低生計費試算調査」を実施し、その結果25歳単身者が自立して生活するには全国どこでも14000円15000円必要だとの結果が出た。生計費に地域間で大きな開きもなかった。最低賃金を全国一律にし、時給1500円にすることを求めていく。また、全国どこでも誰もが安心して住み、働いて暮らせる社会を実現するために、みんなで一緒に声を上げよう」と訴えました。6日には、浜松・沼津でも宣伝を行いました。



静岡市では1月7日の季節、働き方を見直す時期です。昨年10月より消費税が上がります。全労連は「最低生計費試算調査」を実施し、その結果25歳単身者が自立して生活するには全国どこでも14000円15000円必要だとの結果が出た。生計費に地域間で大きな開きもなかった。最低賃金を全国一律にし、時給1500円にすることを求めていく。また、全国どこでも誰もが安心して住み、働いて暮らせる社会を実現するために、みんなで一緒に声を上げよう」と訴えました。6日には、浜松・沼津でも宣伝を行いました。

### 最低生計費を生かした春闘に！！





# 地域運動・組織拡大の高揚が

## 東海北陸ブロック総会

2020年度の東海北陸ブロックの総会が12月7・8日富山市で開催されました。静岡からは7名、全

体で39名の参加でした。全労連の竹下幹事が「2020国民春闘、全労連の闘い」をテーマに講演をし



活発に論議された東海北陸ブロック総会  
=7日、富山市のいこいの村・磯波風

ました。竹下氏は「2020年春闘では『大幅賃上げと最低賃金制度を必ず確立させる』こと『労働時間の短縮を図る』こと『安倍政権での改憲をさせない』こと『労働者のための税と社会保障の改革』を実現させることを基本に運動を構築させていく重要性を話されました。

知崎ブロック事務局長から運動方針や会計報告があり、全体を通じての意見・質問がありました。各県の取り組みの交流で

# 証人申請が認められるかが大きなカギ

## 年金裁判 第16回口頭弁論

12月13日「年金裁判」の第16回口頭弁論が静岡地方裁判所で行われ傍聴席は満席となりました。

裁判終了後の報告集会でこれから証人申請をすることになるが、この証人が認められるかが大きなカギとなる。年金者組合の岡村事務局長が話されました。

その後、証人尋問で証人として立つ予定をしている原告が決意を述べました。裁判では、原告からの「第13準備書面」の要旨を

西沢弁護士が次のように陳述しました。

公的年金（社会保障）は最低生活保障を目的としており。国民年金は、年金受給者の最低生活保障のためにあり「給付費の国庫負担」「低所得者等に対する保険料の免除・猶予」などの制度があり、国の生存権保障義務の表れとなる制度となっている。

立法事実として、1973年の法改正による物価スライド制導入の審議では、

は、2日間で15名が発言し地域運動の高揚や組織拡大などの報告がありました。静岡県評から「リニア新幹線の問題」「女性部活動の取り組み」「原発と反核の運動」「介護運動の取り組み」など地域に根差した報告をしました。

# 韓国における

## 新たな社会政策

静岡県労働研究所 No.57

定例研究会が11月27日に開催され「韓国における社会政策の動向」第15回日中韓社会保障国際論壇に参加して」と題して、磯野博氏が報告しました。

日中韓社会保障国際論壇とは、日本、中国、韓国の社会保障研究者が情報交換と人的交流を行うものです。

韓国は、朝鮮戦争によって国土が荒廃した後、軍事独裁政権の下で急速な高度経済成長期を迎え、1989年に民主化を遂げますが、社会保障は後発でした。アジア通貨危機（1997年）の最中、経済立て直しと社会保障の充実を成し遂げま

長い目で未来を考えよう  
たと言われたいま ロッパの労働者に向かつて「共産党宣言」を発表した時に、まだ資本論はできておらず、したがって完全な根拠があるわけではなく、やや直感的に「資本主義を終わらせ、時代を切り開くのは労働者の階級である」と呼びかけたのと似て、スウェーデンの16歳のグレタ・トゥーベリさんが「システムを変えよう」と呼びかけているのは、多分に直感的なものです。私たちに世界観の変更を迫っていることは確かです。目の利益にとらわれず、未来を考えてみる年したいと思えます。

# 職場の安全衛生を実現するために

静岡県安全健康センター No.67

今年1月からののちの安全・健康にとつて由々しい状況です。一つはトランプ大統領が、イランのソレイマニ將軍を無人機（ドローン）で爆殺した、という信じられない愚行の結果生じた戦争の危機です。大規模な戦争になると予想する専門家がいいます。

もう一つは、地球温暖化による地球全体の危機であり、かつ人類滅亡の危機です。決定的に重要な今後10年間に始まっ

# 「メロデー」保育園の保育士ら一斉退職と声明

静岡県労働組合評議会・全国福祉保育労働組合静岡地方本部は、浜松市の私立認可保育園「メロデー保育園」で起きた保育士らへのパワハラによる一斉退職問題に関し、雇用確保と保護者が安心して子どもを預けられるようにするともに、職場環境の改善を早期に実施するよう求める声明を12月21日出しました。

# 東日本大震災の被災地を訪れて

## 第64回はたらく女性の中央集会在宮城

11月16・17日に開催された「はたらく女性の中央集會」に参加しました。東日本大震災の被災地を訪れる初の機会でしたが、正直気が重く少しの覚悟と緊張をもって臨みました。



1日目の見学分科会で訪ねた、石巻市立大川小学校跡地では、語り部活動をされている只野英昭さんのお話を伺いながら中庭や校舎の中を回りました。壁がすっかり破壊され向こうの景色が見える校舎折れた鉄骨がむき出しになり、二階の教室の床が盛り上がり

割れている様子（写真）が津波の威力を物語っていました。地震発生のおと、子どもたちは校庭へ避難し待機、50分経って避難のための移動を開始した直後に大津波に襲われ、助かるはずだった多くの命が失われてしまいました。只野さんは当時3年生の娘さんを亡くされました。息子さんは全校生徒108人のうち奇跡的に助かった4人の子どものうちの1人です。裁判の姿をみせていかなければ

という言葉が特に強く心に残りました。2日目の全体会では、ジャーナリストで和光大学名誉教授の竹信三重子さんの「企業ファースト化する日本と虚妄の『働き方改革』を問う」と題した講演がありました。「政府やメディアの発する、耳障りの良い言葉は鵜呑みにせず本当の狙いを見極めよう。みんなつながって声をあげ続けよう」などのお話に元気をもらいました。（県評書記 大石佳世子）